

政策シート (政策名) 超高齢社会への対応

(予算費目名) 老人福祉費

(総合計画体系)

「分野」 健康・福祉

30年後の姿 支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

- 10年後の目標
- ・ 地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
 - ・ 病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

◆基本政策 人と人とのつながりをつくる社会の実現

◇政策の概要

- ・健康寿命の延伸
- ・地域包括ケアシステムづくりの推進
- ・認知症対策の推進
- ・高齢者見守り・支援体制の拡充
- ・特別養護老人ホーム・介護付き有料老人ホームの整備の推進
- ・元気な高齢者が支援の必要な高齢者を支える新たな仕組みづくりの推進

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	3,303,908	3,209,575	2,805,050
決算	3,426,528	3,282,548	
人件費(A)	69,440	77,000	77,560
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	3,495,968	3,359,548	2,882,610

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
健康寿命の延伸 ※厚生労働省 発表 健康寿命	歳	男74以上女77以上	目標 実績 目標 実績 目標 実績	男73.08 女76.04 —	男73.18 女76.14 —	男73.28 女76.24

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

- ・健康寿命の延伸
- ・地域包括ケアシステムづくりの推進
- ・認知症対策の推進
- ・高齢者見守り・支援体制の拡充
- ・特別養護老人ホーム・介護付き有料老人ホームの整備の推進
- ・元気な高齢者が支援の必要な高齢者を支える新たな仕組みづくりの推進

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

第7次浜松市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画(計画期間:平成27~29年度)に基づき、計画に掲げた政策及び重点施策を着実に推進することができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業					12,050	2,950	1.3			
2	高齢者施設運営事業					334,568	327,288	1.0			0.1
3	軽費老人ホーム運営事業					553,708	551,328	0.3			0.1
4	敬老支援事業					279,081	267,181	1.5			0.5
5	シニアクラブ支援事業					66,383	61,903	0.6			0.1
6	高齢者居場所づくり助成事業(補助金)				○						
7	高齢者社会参加促進事業				○						
8	高齢者生活支援事業					31,344	28,544	0.2			0.5
9	高齢者生活支援ハウス事業					37,536	36,836	0.1			
10	シルバーサポート事業				○						
11	認知症施策推進事業	○	○	○		28,930	12,550	2.1			0.6
12	外国人高齢者福祉手当支給事業					3,340	2,640	0.1			
13	ねんりんピック選手選考派遣支援事業(負担金)					16,486	15,086	0.2			
14	養護老人ホーム入所事業					974,626	973,226	0.2			
15	老人福祉施設支援事業					23,540	21,440	0.3			
16	老人福祉施設整備費助成事業(補助金)	○	○	○		454,540	442,500	1.4			0.8
17	老人福祉施設整備償還費助成事業(補助金)					10,535	9,835	0.1			
18	高齢者住宅改造助成事業(補助金)					16,700	16,000	0.1			
19	低所得高齢者等住まい・生活支援モデル事業					5,806	5,106	0.1			
20	国庫支出金等精算返還金					24,640	24,640				
21	番号制度対応・システム再構築事業				○						
22	高齢者福祉運営経費(一般諸経費のみ)					8,797	5,997	0.4			
23											
24											
25											
計						2,882,610	2,805,050	10.0			2.7

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業

◇事業目的・事業対象

老人福祉法に基づく高齢者保健福祉計画及び介護保険法に基づく介護保険事業計画を「はままつ友愛の高齢者プラン」として一体的に策定し、高齢者保健福祉施策を推進する。

◇事業の概要

平成26年度に策定した第7次高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画(計画期間:平成27～29年度)の進捗を管理する。
 平成28年度は、計画策定のための基礎資料とするため実態調査(アンケート調査)を実施する。
 平成29年度は、次期「はままつ友愛の高齢者プラン」(平成30年度～32年度)を策定する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H5	—	一般会計	法定受託事務	老人福祉法、介護保険法	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算		5,523	2,950
	決算		5,211	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源		5,211	2,950
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		5,600	8,400	9,100
人工	正規	0.8	1.2	1.3
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
健康寿命の延伸(歳)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	男74・女77	男74・女77	男74・女77			男74以上・女77以上
実績値	—	—				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

平成26年度に策定した第7次高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画(計画期間:平成27～29年度)の進捗を管理する。
 平成28年度は、計画策定のための基礎資料とするため実態調査(アンケート調査)を実施する。
 平成29年度は、次期「はままつ友愛の高齢者プラン」(平成30年度～32年度)を策定する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

H28年度においては、H29年度の次期計画(H30～32年度)策定に伴うアンケート調査を実施し、高齢者や要介護認定者等の福祉施策や介護保険サービスに対する意識等の実態把握に努めた。

【調査概要】(H29.3末現在)

- ①高齢者一般調査(65歳以上で介護認定を受けていない人)
標本数:5,000 有効回収数:3,189 有効回答率:63.8%
- ②在宅要支援認定者調査(要支援認定を受けている人で施設入所者以外)
標本数:2,000 有効回収数:1,292 有効回答率:64.6%
- ③在宅要介護認定者調査(要介護認定を受けている人で施設入所者以外)
標本数:3,000 有効回収数:1,769 有効回答率:59.0%
- ④介護サービス事業所調査(市から指定を受けた介護事業所等の運営法人)
標本数:363 有効回収数:289 有効回答率:79.6%

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 - / 事業費 現状 人工 現状

計画どおりH29年度の次期計画(H30～32年度)策定に伴うアンケート調査を実施し、高齢者や要介護認定者等の福祉施策や介護保険サービスに対する意識等の実態把握に努めた。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 一部委託 / 事業費 現状 人工 現状

前回計画策定時(H26年度)においては、人口推計等業務のみ委託、その他の業務は直接実施としていたが、H29年度においては、専門的な業務の委託化により職員負担軽減を図るとともに、業務の効率化を図る。

事業シート (事業名) 高齢者施設運営事業

◇事業目的・事業対象

高齢者の心身の健康維持・増進を図るため、地域の高齢者の生きがい活動の拠点として、老人福祉法等に定める「老人福祉センター」、「介護予防拠点施設」等を設置し運営する。

◇事業の概要

【老人福祉センター】12施設 主な事業内容: 高齢者の各種相談、教養講座の開催、レクリエーションの実施
 湖東荘、江之島荘、湖南荘、竜西荘、萩原荘、可美荘、いたや、青龍荘、浜北高齢者ふれあい福祉センター、
 舞阪老人福祉センター、雄踏老人福祉会館さつき荘、雄踏老人福祉会館つつじ荘
 【介護予防拠点施設】4施設 主な事業内容: 高齢者の各種相談、教養講座の開催、レクリエーションの実施
 舞阪シニアプラザ陽だまり、細江介護予防センター、浜北生きがいデイサービスセンター、水窪高齢者交流センター
 【その他】
 施設整備事業、施設用地管理事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S46	—	一般会計	自治事務(その他)	老人福祉法、浜松市老人福祉センター条例等	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	360,102	344,265	327,288
	決算	353,849	337,845	
	国・県支出			
	市債			
	その他	23,187	21,000	13,937
	一般財源	330,662	316,845	313,351
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		5,600	7,000	7,280
人工	正規	0.8	1.0	1.0
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			0.1

◇事業の指標(H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
利用者数(人)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	473,000	477,000	481,000			516,000
実績値	478,364	451,263				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

【老人福祉センター】12施設 主な事業内容:高齢者の各種相談、教養講座の開催、レクリエーションの実施
湖東荘、江之島荘、湖南荘、竜西荘、萩原荘、可美荘、いたや、青龍荘、浜北高齢者ふれあい福祉センター、
舞阪老人福祉センター、雄踏老人福祉会館さつき荘、雄踏老人福祉会館つつじ荘

【介護予防拠点施設】4施設 主な事業内容:高齢者の各種相談、教養講座の開催、レクリエーションの実施
舞阪シニアプラザ陽だまり、細江介護予防センター、浜北生きがいデイサービスセンター、水窪高齢者交流センター

【その他】
施設整備事業、施設用地管理事業

・事業の成果と課題

指標の達成度
 計画通り

地域の高齢者の生きがい活動の拠点として、老人福祉法等の定めによる「老人福祉センター」、「介護予防拠点施設」を管理運営した。

①老人福祉センター 12施設 主な事業内容:高齢者の各種相談、教養講座の開催、レクリエーションの実施
湖東荘、江之島荘、湖南荘、竜西荘、萩原荘、可美荘、いたや、青龍荘、浜北高齢者ふれあい福祉センター、
舞阪老人福祉センター、雄踏老人福祉会館さつき荘、雄踏老人福祉会館つつじ荘

②介護予防拠点施設 4施設 主な事業内容:高齢者の各種相談、教養講座の開催、レクリエーションの実施
舞阪シニアプラザ陽だまり、細江介護予防センター、浜北生きがいデイサービスセンター、水窪高齢者交流センター

施設利用者数(①・②合計・H29.3末現在): 451,263人

③その他

・事業の見直し

実施結果
 大項目 改善 小項目 直接実施 / 条例・要綱等 事業費 現状 人工 現状

H28年度から、主として元気はつらつ教室実施場所として使用している「細江介護予防センター」「浜北生きがいデイサービスセンター」について、目的を有する施設(市介護予防事業実施場所)として適切な管理を行うため、施設の位置づけを見直し、公の施設から公用財産(行政財産)とした。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 統合・再構築 / 条例・要綱等 事業費 縮小 人工 縮小

老人福祉センターのあり方について、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、原則として、民間移管、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などの検討を行う。

事業シート (事業名) 軽費老人ホーム運営事業

◇事業目的・事業対象

低額な料金で家庭環境、住宅事情等の理由により居宅において生活することが困難な高齢者を入所させ、日常生活上必要な便宜を供与し、高齢者が健康で明るい生活を送れるようにすることを目的とする。

◇事業の概要

<民間軽費老人ホーム助成事業(補助金)>

軽費老人ホームを設置運営する社会福祉法人等に対し、社会福祉法人等が実施する入所者の負担軽減額相当額を補助する。

施設数:16施設

定員:798名

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S39	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市立軽費老人ホーム条例、軽費老人ホーム入所者負担軽減補助金交付要綱ほか	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	545,660	545,979	551,328
	決算	534,816	544,353	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	534,816	544,353	551,328
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		2,100	2,100	2,380
人工	正規	0.3	0.3	0.3
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			0.1

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
助成対象者数(人)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	798	798	798			798
実績値	773	772				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

＜佐鳴荘管理運営費＞
 浜松市立軽費老人ホーム佐鳴荘を設置運営する。
 指定管理者:社会福祉法人三幸会
 定員:50名
 ＜民間軽費老人ホーム助成事業(補助金)＞
 軽費老人ホームを設置運営する社会福祉法人等に対し、社会福祉法人等が実施する入所者の負担軽減額相当額を補助する。
 施設数:15
 定員:748名

・事業の成果と課題

指標の達成度

 ＜佐鳴荘管理運営費＞
 浜松市立軽費老人ホーム佐鳴荘を設置運営した。
 指定管理者:社会福祉法人三幸会
 定員:50名
 ＜民間軽費老人ホーム助成事業(補助金)＞
 軽費老人ホームを設置運営する社会福祉法人等に対し、社会福祉法人等が実施する入所者の負担軽減額相当額を補助した。
 施設数:15
 定員:748名

・事業の見直し

実施結果
 大項目 小項目 / 事業費 人工

・【佐鳴荘管理運営事業】市立軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化に向け、計画どおり諸事務(条例廃止、事業者選定、契約等)を実施した。
 ・【民間軽費老人ホーム助成事業】軽費老人ホームを設置運営する社会福祉法人等に対する社会福祉法人等が実施する入所者の負担軽減額相当額の補助について計画どおり実施した。

今後の方向性
 大項目 小項目 / 事業費 人工

・計画どおり、H29年度から市立軽費老人ホーム佐鳴荘を民営化した(建物売却、土地賃借)。

事業シート (事業名) 敬老支援事業

◇事業目的・事業対象

長寿を祝い敬老思想の高揚、高齢者福祉の増進を図る。

◇事業の概要

- 敬老祝金品の贈呈
長寿者に祝意を表すため、地域の自治会等を通じて、敬老祝金及び敬老祝品を贈呈する。
(1) 敬老祝金
年度内88歳到達者(10,000円)、年度内100歳到達者(30,000円)
(2) 敬老祝品
年度内100歳到達者(額入り市長寿詞)
- 敬老会等開催費補助金の交付
敬老会を開催する自治会等に対して、対象者1人につき2,000円を限度として補助金を交付する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S43	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市敬老会等開催費補助金交付要綱	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	253,799	262,402	267,181
	決算	252,705	261,173	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	252,705	261,173	267,181
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		9,100	9,100	11,900
人工	正規	1.1	1.1	1.5
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤	0.5	0.5	0.5

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
敬老会出席率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	40	40	40			50
実績値	35	36				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

1. 敬老祝金品の贈呈
 長寿者に祝意を表すため、地域の自治会等を通じて、敬老祝金及び敬老祝品を贈呈する。
 (1) 敬老祝金
 年度内88歳到達者(10,000円)、年度内99歳到達者(30,000円)
 (2) 敬老祝品
 年度内88歳到達者(丸盆・市長寿詞)、年度内100歳到達者(煎茶・額入り市長寿詞)
 2. 敬老会等開催費補助金の交付
 敬老会を開催する自治会等に対して、対象者1人につき2,000円を限度として補助金を交付する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

1. 敬老祝金品の贈呈(H29.2末現在)
 長寿者に祝意を表すため、地域の自治会等を通じて、敬老祝金及び敬老祝品を贈呈した。
 (1) 敬老祝金
 ・88歳到達者(10,000円) 贈呈者数:3,975人 ・99歳到達者(30,000円) 贈呈者数:273人
 (2) 敬老祝品
 ・88歳到達者(丸盆・市長寿詞) 贈呈者数:3,975人 ・100歳到達者(煎茶・額入り市長寿詞) 贈呈者数:209人
 2. 敬老会等開催費補助金の交付
 ・敬老会を開催する自治会等に対して、対象者1人につき2,000円を限度として補助金を交付した。
 補助金申請者数:103,821人

・事業の見直し

実施結果
 大項目 小項目 / 事業費 人工

・【敬老祝金品の贈呈】長寿者に祝意を表すため、地域の自治会等を通じた敬老祝金及び敬老祝品の贈呈について、計画通り実施した。
 ・【敬老会等開催費補助金】敬老会等を開催した自治会等に対する補助金の交付について、計画どおり実施した。また、見直しについては、市自治会連合会と継続協議中。

今後の方向性
 大項目 小項目 / 事業費 人工

・はままつ友愛の高齢者プランに基づき、H29年度に敬老祝金対象年齢の整理、敬老祝品の廃止を実施。
 ・敬老会等開催費補助金の見直しについては、市自治会連合会と継続協議を行う。
 ※H29年度においては、敬老会等開催費補助金対象者の増加に伴い事業費増となったが、今後、見直しについて引き続き市自治会連合会と協議していく。

事業シート (事業名) シニアクラブ支援事業

◇事業目的・事業対象

高齢者の生きがいと健康づくりに資する活動・事業を展開し、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上に寄与するシニアクラブ(老人クラブ)について、高齢者を主体とする介護予防と相互の生活支援という観点から、その活動の実施及び推進を支援する。

◇事業の概要

シニアクラブ活動の支援を行う。

- シニアクラブ浜松市(浜松市老人クラブ連合会)に対する活動支援
高齢者福祉の推進に寄与するシニアクラブ浜松市(浜松市老人クラブ連合会)に補助金を交付する。
- 単位老人クラブに対する活動支援
 - 活動費の助成
 - 高齢者の作品展開催事業
高齢者の日ごろの学習成果を発表することにより、生きがいづくりの推進を図るため、作品展を開催する。
- シルバーサポート事業(平成28年度から事業統合)
 - シルバーサポーターの派遣
シニアクラブ及びシニアクラブ結成可能な組織にシルバーサポーターの派遣を行う。
 - シルバーサポーター養成講座の開催
 - シルバーサポーターフォローアップ講座の開催

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S39	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市老人クラブ活動費補助金交付要綱等	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	59,805	61,177	61,903
	決算	57,705	59,231	
	国・県支出	19,625	19,604	19,600
	市債			
	その他			
	一般財源	38,080	39,627	42,303
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)				
人件費(千円)		4,200	4,480	4,480
人工	正規	0.6	0.6	0.6
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤		0.1	0.1

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
老人クラブ加入者率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	10	10	10			10
実績値	9	9	H30.4頃確定			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
シルバーサポーター派遣回数(回)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	155	160	165			185
実績値	136	137	H30.4頃確定			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

シニアクラブ活動の支援を行う。

1. シニアクラブ浜松市(浜松市老人クラブ連合会)に対する活動支援
高齢者福祉の推進に寄与するシニアクラブ浜松市(浜松市老人クラブ連合会)に補助金を交付する。
2. 単位老人クラブに対する活動支援
 - (1)活動費の助成
 - (2)高齢者の作品展開催事業
高齢者の日ごろの学習成果を発表することにより、生きがいづくりの推進を図るため、作品展を開催する。
3. シルバーサポート事業(平成28年度から事業統合)
 - (1)シルバーサポーターの派遣
シニアクラブ及びシニアクラブ結成可能な組織にシルバーサポーターの派遣を行う。
 - (2)シルバーサポーター養成講座の開催
 - (3)シルバーサポーターフォローアップ講座の開催

・事業の成果と課題

指標の達成度

シニアクラブ活動の支援を行った。

1. シニアクラブ浜松市(浜松市老人クラブ連合会)に対する活動支援
高齢者福祉の推進に寄与するシニアクラブ浜松市(浜松市老人クラブ連合会)に補助金を交付した。
2. 単位クラブに対する活動支援(H28.4現在)
 - ・シニアクラブ活動を行う単位クラブに対して交付金を交付した。
クラブ数:414クラブ 会員数:23,451人
 - ・高齢者の生きがいづくりを図るため、作品展を開催した。
開催日:H28.11.10~11.14(5日間) 出品数:290点
3. シルバーサポート事業(H28.9末現在)
 - ・シニアクラブ及びシニアクラブ結成可能な組織にシルバーサポーターの派遣を行った。
派遣回数:84人 延参加者数:2,049人

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・計画どおりシルバーサポート事業をシニアクラブ支援事業に統合し、類似事業の整理による事務の効率化(担当Gの統一)を図った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・高齢者の作品展の第50回開催記念として、市役所市民ロビーでのシニアクラブ活動啓発ポスター掲載等により、シニアクラブ加入促進を図る。

事業シート (事業名) 高齢者居場所づくり助成事業(補助金) **【完了】**

◇事業目的・事業対象

高齢者が住み慣れた地域で仲間とともに活動する場の拠点となる集会所を利用しやすくすることにより、高齢者の社会参加の促進、生きがいづくりを図る。

◇事業の概要

既存施設の集会所の集会室、トイレ、洗面所、台所、出入口その他の設備を、高齢者が安心して利用できるようユニバーサルデザイン化改修をする必要があると認められる場合、当該改修経費について補助を行う。

- ・補助対象者 自治会、町内会
- ・補助率 2分の1以内
- ・補助金額 上限額25万円

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H25	H27	一般会計	自治事務(その他)	浜松市高齢者居場所づくり支援事業費補助金交付要綱	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	4,500		
	決算	3,764		
	国・県支出			
	市債			
	その他			
一般財源		3,764		
一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		1,400		
人工	正規	0.2		
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
助成施設数(か所)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	18					
実績値	22					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

事業シート (事業名) 高齢者社会参加促進事業 【完了】

◇事業目的・事業対象

高齢者の社会参加を促進し、福祉の増進を図るため、社会参加助成券を交付する。
 <交付対象者> … 次の要件をすべて満たす人
 ・年度内70歳以上到達者 ・交付年度の前々年分の所得金額が200万円未満
 ・交付年度の4月1日から交付申請時まで継続して市内に住所を有している

◇事業の概要

高齢者に対して以下の社会参加助成券の中から年度内にいずれかひとつを交付する。
 <<券の種類>>
 1. 遠鉄バス・電車共通カード(ナイスパス)
 2. タクシー利用券
 3. 天竜浜名湖鉄道乗車券
 4. 鍼灸マッサージ券
 5. 地域バス乗車券
 6. 秋葉バスカード
 7. ガソリン券(北区の一部・天竜区の一部)
 <<交付金額>>
 4,000円分(秋葉バスカードは3,300円分)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S49	H28	一般会計	自治事務(その他)	高齢者等に交付する社会参加助成券に関する規則	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	365,791	363,989	
	決算	363,240	359,511	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	363,240	359,511	
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		8,400	8,820	
人工	正規	1.0	1.1	
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤	0.5	0.4	

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
交付率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100				
実績値	94	93				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

高齢者に対して以下の社会参加助成券の中から年度内にいずれかひとつを交付する。

《券の種類》

1. 遠鉄バス・電車共通カード(ナイスパス)
2. タクシー利用券
3. 天竜浜名湖鉄道乗車券
4. 鍼灸マッサージ券
5. 地域バス乗車券
6. 秋葉バスカード
7. ガソリン券(北区の一部・天竜区の一部)

《交付金額》

4,000円分(秋葉バスカードは3,300円分)

・事業の成果と課題

指標の達成度

対象者に対して社会参加助成券を交付した。

1. 遠鉄バス・電車共通カード(ナイスパス) 33,269人
2. タクシー利用券 71,388人
3. 天竜浜名湖鉄道乗車券 973人
4. 鍼灸マッサージ券 2,167人
5. 地域バス乗車券 194人
6. 秋葉バスカード 20人
7. ガソリン券(北区の一部・天竜区の一部) 4,259人 計 112,270人

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・高齢者の社会参加促進のため、対象者に対する社会参加助成券の交付について、計画どおり実施した。
- ・H29年度からの事業廃止にあたり、社会福祉審議会高齢者専門分科会における協議を実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・はままつ友愛の高齢者プランに基づき、H28年度末をもって事業を廃止する。

事業シート (事業名) 高齢者生活支援事業

◇事業目的・事業対象

在宅のひとり暮らし高齢者や高齢者世帯等に対して、日常生活上のサービスを行うことにより、自立した生活を支援する。

◇事業の概要

- ① 高齢者配食サービス事業
 - ・ひとり暮らし等で虚弱な高齢者に食事を配食し、あわせて高齢者の安否確認を行う。
- ② 日常生活上の軽度援助事業
 - ・簡単な庭の手入れなど日常生活上の軽度な援助を行うため、月8時間を上限として援助員を派遣する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S50	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市高齢者地域支援事業実施要綱	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	31,113	30,391	28,544
	決算	26,577	25,761	
	国・県支出			
	市債			
	その他	654	553	793
	一般財源	25,923	25,208	27,751
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		2,940	3,080	2,800
人工	正規	0.3	0.2	0.2
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤	0.3	0.6	0.5

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
配食サービス延利用食数(食)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	81,500	83,100	84,400			87,100
実績値	72,830	70,670				
軽度生活援助員延派遣回数(回)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	1,325	1,350	1,375			1,625
実績値	1,211	1,116				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- ①高齢者配食サービス事業
・ひとり暮らし等で虚弱な高齢者に食事を配食し、あわせて高齢者の安否確認を行う。
- ②日常生活上の軽度援助事業
・簡単な庭の手入れなど日常生活上の軽度な援助を行うため、月8時間を上限として援助員を派遣する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ①高齢者配食サービス事業(H29.3末現在)
ひとり暮らし等で虚弱な高齢者に食事を配食し、あわせて高齢者の安否確認を行った。
配食数:70,670食(社会福祉法人:12,467食、民間事業者:58,203食)
- ②日常生活上の軽度援助事業(H29.3末現在)
簡単な庭の手入れなど日常生活上の軽度な援助を行うため、月8時間を上限として援助員を派遣した。
派遣時間数:1,919.5時間(中山間地域以外:1,808.5時間、中山間地域:111時間)

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・【高齢者配食サービス事業】ひとり暮らし等で虚弱な高齢者に対する食事を配食と安否確認について、計画どおり実施した。
- ・【日常生活上の軽度援助事業】簡単な庭の手入れなど日常生活上の軽度な援助を行う援助員を派遣について、計画どおり実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- 【高齢者配食サービス事業】中山間地域では引き続き民間事業者の参入に対する委託条件の緩和を継続するとともに、地域限定でボランティアによる配食活動の導入支援など検討を行う。また、市内全域での配食サービスに対するニーズに応えるため、配食回数の増加など事業対象の拡大を検討する必要がある。
- 【日常生活上の軽度援助事業】地区社協等による類似の民間サービスの実施状況に注視しながら、事業を継続して実施していく。

事業シート (事業名) 高齢者生活支援ハウス事業

◇事業目的・事業対象

高齢者に対して、介護支援、住居及び交流機会を総合的に提供し、高齢者が安心して健康で明るい生活を送れるよう支援し、もって高齢者の福祉の増進を図ることを目的とする。

◇事業の概要

施設数 4箇所(市内の社会福祉法人4法人に委託)

定員 51名

市内に居住する、原則として要介護度1以下のひとり暮らし高齢者等のうち、独立して生活することが困難な者が、原則として3ヶ月を限度として利用できる「生活支援ハウス」を設置運営する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H15	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市生活支援ハウス運営事業実施要綱	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	36,836	36,848	36,836
	決算	35,086	35,306	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	35,086	35,306	36,836
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		700	700	700
人工	正規	0.1	0.1	0.1
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
利用定員(人)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	51	51	51			51
実績値	51	51				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
利用率(延利用日数÷(定員×年間日数)) (%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	50	50	50			50
実績値	53	57				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

施設数 4箇所(市内の社会福祉法人4法人に委託)
 定員 51名
 市内に居住する、原則として要介護度1以下のひとり暮らし高齢者等のうち、独立して生活することが困難な者が、原則として3ヶ月を限度として利用できる「生活支援ハウス」を設置運営する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

 施設数 4箇所(市内の社会福祉法人4法人に委託)
 定員 51名
 市内に居住する、原則として要介護度1以下のひとり暮らし高齢者等のうち、独立して生活することが困難な者が、原則として3ヶ月を限度として利用できる「生活支援ハウス」を設置運営した。

稼働率(H29.3末現在)
 ・やまぶき 67.7%(4,941日/20人×365日)
 ・あんしんの里 95.1%(2,776日/8人×365日)
 ・山崎 14.8%(485日/9人×365日)
 ・佐久間高齢者生活福祉センター 45.9%(2,344日/14人×365日)

・事業の見直し

実施結果
 大項目 小項目 / 事業費 人工
 ・市内に居住する原則として要介護度1以下のひとり暮らし高齢者等のうち、独立して生活することが困難な者が利用できる生活支援ハウスの設置運営について、計画どおり実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工
 ・利用対象用件の緩和等について、利用状況等を踏まえた制度見直しの検討を行っていく。

事業シート (事業名) シルバーサポート事業 【完了】

◇事業目的・事業対象

シルバーサポーターの派遣・養成により、シニアクラブの活動の活性化を図る。

◇事業の概要

- ①シルバーサポーターの派遣
シニアクラブ及びシニアクラブ結成可能な組織に、シルバーサポーターの派遣を行う。
活動内容:シルバーサポーターが訪問し、体操やゲーム、手芸、歌などのレクリエーション活動を行い、組織の活性化を図る。
 - ②シルバーサポーター養成講座の開催
高齢者のグループに対して体操、ゲーム、趣味活動などの指導をすることができる市民を対象として養成講座を開催する。また、養成講座修了者に対してシルバーサポーター登録を勧める。
 - ③シルバーサポーターフォローアップ講座の開催
現在すでに活動しているシルバーサポーターのレベルアップを図るための講座を開催する。
- ※平成28年度より「シニアクラブ支援事業」に統合

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	1,562		
	決算	1,466		
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,466		
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		1,400		
人工	正規	0.2		
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
シルバーサポーター派遣回数(回)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	155					185
実績値	136					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

事業シート (事業名) 認知症施策推進事業

◇事業目的・事業対象

認知症に対する理解を深める広報・啓発とともに、認知症の高齢者が地域の中で生活するための支援者を養成することで、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを進める。また、認知症高齢者に対する早期発見・早期治療を図るとともに、地域で認知症の人を支えるための支援体制の充実・強化を図る。

◇事業の概要

【重点戦略項目 No. 43】
 (1) 普及・啓発
 ・ 認知症に関する講演会の開催や認知症に関する啓発パンフレット等作成
 (2) 本人・家族支援
 ・ 認知症サポーターの養成 (認知症の人や家族を温かく見守り、支援する認知症サポーター等を養成)
 ・ キャラバン・メイトの養成・活動支援 (認知症サポーター養成講座の講師となるキャラバン・メイトを養成)
 (3) 早期発見・早期治療
 ・ 認知症疾患医療センターの運営支援 (鑑別診断、急性期治療等を実施する医療機関の指定と助成)
 ・ 認知症ケアパスの作成 (認知症のステージにあわせて利用できる地域の社会資源(ケアパス)を作成し配付)
 ・ 認知症サポート医・かかりつけ医の養成 (連携の推進役のサポート医、患者を診療するかかりつけ医を養成)
 (4) 予防 (重度化防止)
 ・ 認知症自己チェックリストの作成 (認知症の早期発見、早期受診を目的とした自己チェックリストを作成し配付)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	—	一般会計	自治事務(その他)		○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	15,503	12,993	12,550
	決算	13,537	10,926	
	国・県支出	6,010	5,481	5,921
	市債			
	その他			
	一般財源	7,527	5,445	6,629
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		9,100	12,320	16,380
人工	正規	1.1	1.2	2.1
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤	0.5	1.4	0.6

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
認知症サポーター養成人数・単年度(人)				-		-
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	3,500	3,500	3,500			3,500
実績値	4,647	4,330				
認知症サポート医養成累計人数(人)				-		43
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	26	34	41	45		75以上
実績値	27	37				
認知症チェックリストの配布数・単年度(人)				-		-
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	66,000	5,000	5,000			6,000
実績値	10,000	3,000				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

<p>【重点戦略項目 No.43】</p> <p>(1) 予防(重度化防止) ※認知症対策モデル検証は平成28年度から介護保険事業特別会計として実施 ・認知症自己チェックリストの作成(認知症の早期発見、早期受診を目的とした自己チェックリストを作成し配付)</p> <p>(2) 早期発見・早期治療 ・認知症ケアパスの作成:(認知症のステージにあわせて利用できる地域の社会資源(ケアパス)を作成し配付) ・認知症疾患医療センターの運営支援(鑑別診断、急性期治療等を実施する医療機関の指定と助成) ・認知症サポート医・かかりつけ医の養成(連携の推進役のサポート医、患者を診療するかかりつけ医を養成)</p> <p>(3) 本人・家族支援 ・キャラバン・メイトの養成:53人・活動支援(認知症サポーター養成講座の講師となるキャラバン・メイトを養成) ・認知症サポーターの養成:4,330人(認知症の人や家族を温かく見守り、支援する認知症サポーター等を養成)</p> <p>(4) 普及・啓発 ・認知症に関する講演会の開催:239人や認知症に関する啓発パンフレット:2,000部等作成</p>

・事業の成果と課題

<p>指標の達成度</p> <p><input type="text" value="計画通り"/></p> <p>(1) 予防・重度化防止(H29.2末現在) ・認知症自己チェックリストの作成:3,000部</p> <p>(2) 早期発見・早期治療(H29.2末現在) ・認知症ケアパスの作:3,000部 ・認知症疾患医療センターの運営支援 ・認知症サポート医の養成:10人、フォローアップ研修:7人 かかりつけ医の養成:新規受講1人</p> <p>(3) 本人・家族支援 ・キャラバン・メイトの養成・活動支援 養成人数:53人 ・認知症サポーターの養成 養成人数:3,887人</p> <p>(4) 普及・啓発 ・認知症に関する講演会の開催:1回239人参加 認知症に関する啓発パンフレット等作成 2,000部</p>
--

・事業の見直し

<p>実施結果</p> <p>大項目 <input type="text" value="改善"/> 小項目 <input type="text" value="一部委託"/> / <input type="text" value=""/> 事業費 <input type="text" value="現状"/> 人工 <input type="text" value="現状"/></p> <p>・計画どおり事業を実施した。また、認知症講演会開催業務の一部委託化により、職員事務負担の軽減を図った。</p>
<p>今後の方向性</p> <p>大項目 <input type="text" value="改善"/> 小項目 <input type="text" value="一部委託"/> / <input type="text" value="協働・助成"/> 事業費 <input type="text" value="現状"/> 人工 <input type="text" value="現状"/></p> <p>・計画に基づく事業を実施するとともに、今後は本人の視点に立った事業を充実させていく。</p>

補助シート (事業名) 認知症施策推進事業

◇事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
43	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル検証 ・チェックリストの作成 ・ケアパスの作成 ・認知症疾患医療センター運営支援 ・認知症サポート医・かかりつけ医の養成 ・キャラバン・メイトの養成・活動支援 ・サポーターの養成 	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックリストの配布 ・ケアパスの配付 ・認知症疾患医療センター運営支援 ・認知症サポート医・かかりつけ医の養成 ・キャラバン・メイトの養成・活動支援 ・サポーターの養成 	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックリストの配布 ・ケアパスの配付 ・認知症疾患医療センター運営支援 ・認知症サポート医・かかりつけ医の養成 ・キャラバン・メイトの養成・活動支援 ・サポーターの養成 	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックリストの配布 ・ケアパスの配付 ・認知症疾患医療センター運営支援 ・認知症サポート医・かかりつけ医の養成 ・キャラバン・メイトの養成・活動支援 ・サポーターの養成

事業シート (事業名) 外国人高齢者福祉手当支給事業

◇事業目的・事業対象

公的年金を受給できない外国人高齢者に対し福祉手当を支給し、福祉の増進を図る。

◇事業の概要

下記の支給要件すべてを満たす方に対し、月額1万1千円、年間13万2千円を年3回(8月、12月、4月)に分けて4万4千円ずつ支給する。

- ①浜松市に住民として登録をし、1年以上継続して浜松市に在住している者
- ②出入国管理及び難民認定法による永住許可を受けている者
- ③厚生年金その他公的年金を受給していない者
- ④国民老齢基礎年金の所得条件に準ずる経済状況にある者
- ⑤昭和8年4月1日以前に生まれた者

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H5	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市外国人高齢者福祉手当規則	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	3,300	3,036	2,640
	決算	2,926	2,398	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	2,926	2,398	2,640
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		700	700	700
人工	正規	0.1	0.1	0.1
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
支給人数(人)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	26	23	20			20
実績値	23	18				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

下記の支給要件すべてを満たす方に対し、月額1万1千円、年間13万2千円を年3回(8月、12月、4月)に分けて4万4千円ずつ支給する。

- ①浜松市に住民として登録をし、1年以上継続して浜松市に在住している者
- ②出入国管理及び難民認定法による永住許可を受けている者
- ③厚生年金その他公的年金を受給していない者
- ④国民老齢基礎年金の所得条件に準ずる経済状況にある者
- ⑤昭和8年4月1日以前に生まれた者

・事業の成果と課題

指標の達成度

対象者に対し、月額1万1千円、年間13万2千円を年3回(8月、12月、4月)に分けて4万4千円ずつ支給した。

支給人数:18人(H28.11末現在)

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・対象者に対する外国人高齢者福祉手当の支給について、計画どおり実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・支給要件に出生年月日を設定しており、対象者は減少している。
- ・対象者がいなくなるまで制度は継続する。

事業シート (事業名) ねんりんピック選手選考派遣支援事業(負担金)

◇事業目的・事業対象

高齢者の健康保持、増進、社会参加、生きがいの高揚を図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成に寄与することを目的として開催される全国健康福祉祭(ねんりんピック)へ浜松市選手団を派遣する。

◇事業の概要

政令指定都市については、国の要綱により選手の選考・派遣を行うことが規定されていることから、全国健康福祉祭浜松市実行委員会を組織し、選手選考・派遣等の業務を行う。

<開催予定(決定分)>

平成29年度:秋田県 平成30年度:富山県 平成31年度:和歌山県

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H2	—	一般会計	自治事務(法令義務)	全国健康福祉祭開催要綱	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	11,414	15,063	15,086
	決算	7,270	12,634	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	7,270	12,634	15,086
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		3,500	1,400	1,400
人工	正規	0.5	0.2	0.2
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
開催種目における派遣種目の割合(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100			100
実績値	88	85				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

政令指定都市については、国の要綱により選手の選考・派遣を行うことが規定されていることから、全国健康福祉祭浜松市実行委員会を組織し、選手選考・派遣等の業務を行う。

<開催予定(決定分)>

平成28年度:長崎県 平成29年度:秋田県 平成30年度:富山県 平成31年度:和歌山県

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

全国健康福祉祭浜松市実行委員会を組織し、長崎大会への選手選考・派遣等の業務を行った。

派遣種目:22種目・150人

美術展出品数:6部門12点

・事業の見直し

実施結果

大項目 改善 小項目 一部委託 / 事業費 現状 人工 現状

・H28年度から、実行委員会事務局業務を委託化し、人工の削減及び業務の効率化を図った。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 業務改善 / 事業費 現状 人工 現状

・H29年度においても、派遣業務を委託により実施する。また、H28年度の委託業務実施結果を踏まえて必要な業務内容の見直しを検討する。

事業シート (事業名) 養護老人ホーム入所事業

◇事業目的・事業対象

経済的事情や家庭環境などにより、居宅で生活することが困難な者を養護老人ホームへ入所措置し、入所者が自立した日常生活を営むことができるようにする。

◇事業の概要

老人福祉法の規定に基づき、65歳以上の高齢者で環境上の理由及び経済的な理由により居宅において養護を受けることが困難な者を養護老人ホームへ措置する。
 負担金は、本人の収入に応じた額を算定し、本人から徴収する本人分と、入所前に親族が本人を扶養していた場合は、主たる扶養義務者として所得から負担金額を算定して徴収する扶養義務者分がある。

市内 6施設 定員420人
 組合立 1施設 定員50人
 その他市外施設有り

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S38	—	一般会計	法定受託事務	老人福祉法、浜松市老人福祉法施行細則	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	1,006,422	941,244	973,226
	決算	912,170	902,990	
	国・県支出			
	市債			
	その他	169,056	167,586	176,272
	一般財源	743,114	735,404	796,954
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		1,400	1,400	1,400
人工	正規	0.2	0.2	0.2
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
市内施設入所定員合計数(人)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	420	420	420			420
実績値	420	420				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

老人福祉法の規定に基づき、65歳以上の高齢者で環境上の理由及び経済的な理由により居宅において養護を受けることが困難な者を養護老人ホームへ措置する。
負担金は、本人の収入に応じた額を算定し、本人から徴収する本人分と、入所前に親族が本人を扶養していた場合は、主たる扶養義務者として所得から負担金額を算定して徴収する扶養義務者分がある。

市内 6施設 定員420人
組合立 1施設 定員50人
その他市外施設

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

老人福祉法の規定に基づき、65歳以上の高齢者で環境上の理由及び経済的な理由により居宅において養護を受けることが困難な者を養護老人ホームへ措置した。

被措置者数(H29.3末現在):458人 延被措置者数:4,773人

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 - / 事業費 現状 人工 現状

・65歳以上の高齢者で環境上の理由及び経済的な理由により居宅において養護を受けることが困難な者を養護老人ホームへ措置した。

今後の方向性

大項目 現状 小項目 - / 事業費 現状 人工 現状

・65歳以上の高齢者で環境上の理由及び経済的な理由により居宅において養護を受けることが困難な者について、引き続き養護老人ホームへ措置していく。

事業シート (事業名) 老人福祉施設支援事業

◇事業目的・事業対象

経済的事情や家庭環境などにより、居宅で生活することが困難な高齢者が入所する養護老人ホームの運営を支援し、円滑な運営と入居者への適切な処遇を図る。

◇事業の概要

<養護老人ホーム入所者処遇改善費助成事業(補助金)>

加配職員による入所者への適切な処遇の促進、また障がいのある人の受け入れの円滑化を図るため、浜松市内6か所の養護老人ホームに対して必要な助成を行う。

<養護老人ホームとよおか管理組合負担金>

養護老人ホームを設置・運営している一部事務組合(養護老人ホームとよおか管理組合)に対して、経費の応分の負担を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S37	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市養護老人ホーム入所者処遇改善事業費補助金交	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	21,436	19,664	21,440
	決算	17,270	16,381	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	17,270	16,381	21,440
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		2,100	2,100	2,100
人工	正規	0.3	0.3	0.3
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
助成対象施設数(か所)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	7	7	7			7
実績値	7	7				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

<養護老人ホーム入所者処遇改善費助成事業(補助金)>
加配職員による入所者への適切な処遇の促進、また障がいのある人の受け入れの円滑化を図るため、浜松市内6か所の養護老人ホームに対して必要な助成を行う。

<養護老人ホームとよおか支援事業>
養護老人ホームを設置・運営している一部事務組合(養護老人ホームとよおか管理組合)に対して、経費の応分の負担を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

<養護老人ホーム入所者処遇改善費助成事業(補助金)>
加配職員による入所者への適切な処遇の促進、また障がいのある人の受け入れの円滑化を図るため、浜松市内6か所の養護老人ホームに対して必要な助成を行った。
対象施設数:6施設

<養護老人ホームとよおか支援事業>
養護老人ホームを設置・運営している一部事務組合(養護老人ホームとよおか管理組合)に対して、経費の応分の負担を行った。
対象施設数:1施設

・事業の見直し

実施結果
 大項目 小項目 / 事業費 人工

・【養護老人ホーム入所者処遇改善費助成事業】加配職員による入所者への適切な処遇の促進、また障がいのある人の受け入れの円滑化を図るため、浜松市内6か所の養護老人ホームに対する助成を計画どおり実施した。

・【養護老人ホームとよおか支援事業】養護老人ホームを設置・運営している一部事務組合(養護老人ホームとよおか管理組合)に対する応分の負担の執行について、計画どおり実施した。

今後の方向性
 大項目 小項目 / 事業費 人工

・利用規模や待機者数、必要性について調査研究を進め、補助制度のあり方を検討する。

・養護老人ホームとよおかについては、指定管理3年目(H32年度)において、管内養護老人ホーム入所状況や措置者数の状況をふまえ、H35～H39年度における運営方針を検討する。

事業シート (事業名) 老人福祉施設整備費助成事業(補助金)

◇事業目的・事業対象

在宅での生活が困難な高齢者の生活場所を確保するため、老人福祉施設の整備を推進する。

◇事業の概要

【重点戦略項目 No.44】

特別養護老人ホームの創設又は増築を行う社会福祉法人に対し、施設整備に係る経費を対象として補助金を交付し、施設の整備を推進する。

【特別養護老人ホーム】 ※平成29年度整備施設

- ・(福)大地 細江の苑 90床創設 + ショートステイ10床
- ・(福)朋友会 鶴寿の里 50床創設 + ショートステイ10床
- ・(福)慈恵会 あづきもち 20床増設

※平成28～29年度整備施設 (福)奥山老人ホーム 引佐みやまの里 70床創設 + ショートステイ10床

<既存高齢者施設の防犯対策強化事業(H28からの繰越事業)>

入所者や職員の安全を確保するため、防犯カメラ等の設置等の必要な安全対策に要する経費を補助する。

事業希望施設数:17施設

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H22	—	一般会計	自治事務(その他)	老人福祉法、介護保険法	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	534,500	377,793	442,500
	決算	804,500	531,000	
	国・県支出			
	市債	705,400	405,200	295,000
	その他			
	一般財源	99,100	125,800	147,500
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		8,400	9,100	12,040
人工	正規	1.2	1.3	1.4
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			0.8

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
特別養護老人ホームの定員(人)				-		44
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	4,137	4,486	4,736	5,000		5,000
実績値	4,037	4,486				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				Ⅲ-3(2)ア		—
入所待機者のうち在宅重度者(人) ※各年8月1日現在						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	266	177	89		0	0
実績値	409	308				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

【重点戦略項目 No.44】
 特別養護老人ホームの創設又は増築を行う社会福祉法人に対し、施設整備に係る経費を対象として補助金を交付し、施設の整備を推進した。
 【特別養護老人ホーム】〔決算531,000千円(うち前年度繰越額162,000千円)〕
 ※平成28年度整備施設 H29.4.1開設
 ・(福)晃仁会 湖東の杜 90床創設 + ショートステイ10床
 ・(福)三和会 宇布見の里 70床創設 + ショートステイ10床
 ・(福)七恵会 浜松中央長上苑 30床増設 + ショートステイ10床
 ※H27年度からの繰越事業 H28.7.1開設
 ・(福)ほなみ会 南風 60床増設 + ショートステイ 0床
 ※平成28～29年度整備施設
 ・(福)奥山老人ホーム 引佐みやまの里 70床創設 + ショートステイ10床

・事業の成果と課題

指標の達成度

 特別養護老人ホームの創設又は増築を行う社会福祉法人に対し、施設整備に係る経費を対象として補助金を交付し、施設の整備を推進した。
 【特別養護老人ホーム】(平成28年4月開設 ※南風は、7月開設)
 ・(福)藤花幸寿会 藤乃花 90床創設 + ショートステイ10床
 ・(福)公友会 ケアホーム三方原 80床創設 + ショートステイ20床
 ・(福)白梅福祉会 白梅下石田ホーム 40床増設 + ショートステイ20床
 ・(福)慶成会 グリーンヒルズ東山 50床増設
 ・(福)ほなみ会 南風 60床増設

・事業の見直し

実施結果
 大項目 小項目 / 事業費 人工
 ・特別養護老人ホームの創設又は増築を行う社会福祉法人に対する補助金の交付について、計画どおり実施した。

今後の方向性
 大項目 小項目 / 事業費 人工
 ・H28年度およびH29年度の特別養護老人ホーム入所待機者調査の結果を踏まえ、H30年度以降の必要整備数を見極めていく。

平成29年度

(管理番号)

05 01 01 01 001035000 16

(担当課)

高齢者福祉課

(責任者)

小石川 邦夫

(作成日)

平成 29 年 7 月 1 日

補助シート

(事業名) 老人福祉施設整備費助成事業(補助金)

◇事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
44	特別養護老人ホーム整備 備床数 349床	特別養護老人ホーム整備 備床数 250床	特別養護老人ホーム整備 備床数 250床	

事業シート (事業名) 老人福祉施設整備償還費助成事業(補助金)

◇事業目的・事業対象

社会福祉法人の老人福祉施設整備に伴う借入金の元利償還金の一部を助成し、安定した運営と施設福祉サービスの充実を図る。

◇事業の概要

合併前の浜北・佐久間において特別養護老人ホーム等を整備した社会福祉法人に対し、整備に要した借入金の償還補助を行う。

- | | | |
|-------|-------------|--------------|
| (浜北) | ・(福)大善福祉会 | 多喜の園(特養増築) |
| | ・(福)天竜厚生会 | しんぱらの家(特養創設) |
| | ・(福)聖隷福祉事業団 | 浜北愛光園(特養増築) |
| (佐久間) | ・(福)さくま | さくまの里(特養増築) |

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H17	H37	一般会計	自治事務(その他)	浜松市社会福祉施設整備償還費補助金交付要綱	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	21,683	18,458	9,835
	決算	21,682	18,457	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	21,682	18,457	9,835
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)				
人件費(千円)		700	700	700
人工	正規	0.1	0.1	0.1
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

合併前の浜北・佐久間において特別養護老人ホーム等を整備した社会福祉法人に対し、整備に要した借入金の償還補助を行う。

(浜北)	・(福)大善福祉会	多喜の園(特養増築)
	・(福)天竜厚生会	しんばらの家(特養創設)
	・(福)聖隷福祉事業団	浜北愛光園(特養増築)
(佐久間)	・(福)さくま	さくまの里(特養創設+増築)

・事業の成果と課題

指標の達成度

合併前の浜北・佐久間において特別養護老人ホーム等を整備した社会福祉法人に対し、整備に要した借入金の償還補助を行った。

(浜北)	・(福)大善福祉会	多喜の園(特養増築)
	・(福)天竜厚生会	しんばらの家(特養創設)
	・(福)聖隷福祉事業団	浜北愛光園(特養増築)
(佐久間)	・(福)さくま	さくまの里(特養創設+増築)

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・合併前の浜北・佐久間において特別養護老人ホーム等を整備した社会福祉法人に対する借入金の償還補助について、計画どおり実施した。

・対象事業の一部はH28年度末をもって償還完了予定(さくま:さくまの里(創設))。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・合併調整方針に基づき、対象事業の償還完了まで継続して実施する。

・対象事業の償還が完了し次第、事業を廃止する(H37年度完了予定)。

事業シート (事業名) 高齢者住宅改造助成事業(補助金)

◇事業目的・事業対象

在宅の高齢者が安全で安心して日常生活を送れるように、住宅設備を改造することにより高齢者の自立の助長やその家族介護者の負担の軽減を図る。

◇事業の概要

60歳以上の心身状況等により住宅を改造する必要があると認められる高齢者が、住宅を改造する場合の費用の一部を助成する。

【対象者と助成額】

- 対象者① 市民税非課税の世帯
- 助成額① 工事費(対象経費)の3分の2以内で、75万円を限度
- 対象者② 市民税課税で前年分の所得税額が20万円以下の世帯
- 助成額② 工事費(対象経費)の3分の1以内で、75万円を限度

【対象となるもの】

既存住宅の居室・浴室・便所・台所・玄関・廊下等を高齢者の生活に適するように改造するための経費

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H7	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市高齢者住宅改造費補助金交付要綱	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	26,000	17,000	16,000
	決算	14,328	10,539	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	14,328	10,539	16,000
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		700	700	700
人工	正規	0.1	0.1	0.1
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
申請(助成)件数(件)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	52	53	54			
実績値	40	29				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

60歳以上の心身状況等により住宅を改造する必要があると認められる高齢者が、住宅を改造する場合の費用の一部を助成する。

【対象者と助成額】

- 対象者① 市民税非課税の世帯
- 助成額① 工事費(対象経費)の3分の2以内で、75万円を限度
- 対象者② 市民税課税で前年分の所得税額が20万円以下の世帯
- 助成額② 工事費(対象経費)の3分の1以内で、75万円を限度

【対象となるもの】

既存住宅の居室・浴室・便所・台所・玄関・廊下等を高齢者の生活に適するように改造するための経費

・事業の成果と課題

指標の達成度

60歳以上の心身状況等により住宅を改造する必要があると認められる高齢者が、住宅を改造する場合の費用の一部を助成した。

助成件数(H29.3末現在): 29件

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・60歳以上の心身状況等により住宅を改造する必要があると認められる高齢者に対する補助金の交付について、計画どおり実施した。

・H28年度においては、補助件数は減少しているが、平均助成額は例年並の見込。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・H29末をもって補助金要綱の終期を迎えるため、補助内容や補助手続きなど制度全体の検討を行う。

事業シート (事業名) 低所得高齢者等住まい・生活支援モデル事業

◇事業目的・事業対象

中山間地域において、心身の状況や地理的な理由、経済的理由等により自立した生活を送ることが困難な高齢者が住み慣れた地域の拠点エリアで安心して継続的に暮らせるよう、空き家等の活用による住居の確保や日常生活上の支援など、地域における支援体制を構築する。

◇事業の概要

- (1) 支援対象 心身の状況等により現在の居宅での生活が困難な低所得高齢者等
 (2) 実施箇所 天竜区龍山町地内を予定
 (3) 事業内容 ・支援ネットワーク整備(地区社協、高齢者相談センター、民生委員、NPO、サービス事業所などの地域団体)
 ・生活実態の調査による対象者の把握
 ・移転支援(空き家情報等の収集、改修、相談、入居支援など)
 ・生活支援(定期的な訪問による見守り、家事支援など)
 (4) 委託先 社会福祉法人

※H26年度国庫補助事業として創設

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H28	H30	一般会計	自治事務(その他)	低所得高齢者等住まい・生活支援モデル事業実施要綱	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算		5,106	5,106
	決算		2,954	
	国・県支出		2,954	5,106
	市債			
	その他			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)			700	700
人工	正規		0.1	0.1
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- | | |
|---------|--|
| (1)支援対象 | 心身の状況等により現在の居宅での生活が困難な低所得高齢者等 |
| (2)実施箇所 | 天竜区龍山町地内 |
| (3)事業内容 | ・支援ネットワーク整備(地区社協、高齢者相談センター、民生委員、NPO、サービス事業所などの地域団体)
・生活実態の調査による対象者の把握
・移転支援(空き家情報等の収集など) |
| (4)委託先 | 社会福祉法人 |

・事業の成果と課題

- | | |
|--|-----------------------------------|
| 指標の達成度 | <input type="text" value="計画通り"/> |
| ・H28～30年度の3か年計画のモデル事業初年度であるH28年度は、支援ネットワークの整備として、ワーキンググループを年5回開催し、事業対象者となる方についてや、空き屋の確保等に向けた意見交換を実施。 | |
| ・先進地の視察やシンポジウムにおける発表等で他自治体の状況への理解を深めた。 | |
| ・事業に使用する空き家についての検討。 | |

・事業の見直し

- | | |
|--|---|
| 実施結果 | 大項目 <input type="text" value="現状"/> 小項目 <input type="text" value="-"/> / <input type="text" value=""/> 事業費 <input type="text" value="現状"/> 人工 <input type="text" value="現状"/> |
| ・H28～30年度の3か年計画のモデル事業初年度として、主にワーキンググループの開催、ニーズ調査の実施、視察等により事業に対する理解を深め、今後に向けた支援体制の検討を計画どおり実施した。 | |
| 今後の方向性 | 大項目 <input type="text" value="改善"/> 小項目 <input type="text" value="収集・分析"/> / <input type="text" value=""/> 事業費 <input type="text" value="現状"/> 人工 <input type="text" value="現状"/> |
| ・H28年度に実施したワーキンググループでの意見やニーズ調査等の結果を踏まえ、使用できる空き家を確保し、利用者の入居や支援の構築を図る。 | |

事業シート (事業名) 国庫支出金等精算返還金

◇事業目的・事業対象

市立軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化に伴い、改築時交付を受けた国庫補助金を返還するもの。

◇事業の概要

【佐鳴荘概要】

種別: 軽費老人ホームA型(定員: 50名)
 構造: 鉄筋コンクリート造 2階建(延床面積: 2,104.47㎡)
 開設: 昭和39年11月(※平成9年11月改築)

○改築時国庫補助金交付状況

名称: 社会福祉施設等施設・設備整備費補助金
 総事業費: 949,986,550円
 補助金額: 195,257,000円

○補助金返還額(=譲渡(売却)額×補助金額/総事業費)

119,880,000円×195,257,000円/949,986,550円=24,640,000円

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H29	H29	一般会計	自治事務(その他)	H20.4.17老発第0417001号厚生労働省老健局長通知「厚生労働省所管一般会計補助金等に係る財産処分について」	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	1,193	1,414	24,640
	決算	1,193	625	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,193	625	24,640
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)				
人工	正規			
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 廃止 小項目 - / 事業費 人工

・市立軽費老人ホーム佐鳴荘の建物売却に伴い必要となる国庫補助金の返還であり、H29年度の返還をもって事業を終了する。

事業シート (事業名) 番号制度対応・システム再構築事業 **【完了】**

◇事業目的・事業対象

在宅福祉サービスや地域支援事業サービス等の管理を行っている高齢者福祉システム及び対象者や所属自治会等の情報管理を行っている敬老祝金システムの機能を統合し、新たなシステムを構築するもの。

◇事業の概要

(1) システムの名称
 新高齢者福祉システム(現行の高齢者福祉システムと敬老祝金システムの統合)
 (2) システムの概要
 <高齢者福祉システム>
 市民台帳管理、決裁処理、施設入所管理、実態把握取込処理、介護保険事業(地域支援事業管理)、在宅福祉サービス管理、介護予防健診管理、地域高齢者調査管理、口座振替管理、地域包括支援システムとの連携、取込処理、マスタ管理
 <敬老祝金システム>
 市民台帳管理、新規対象者管理、異動対象者管理、自治会情報管理、送付先情報管理、マスタ管理

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H27	H28	一般会計	自治事務(その他)	番号法、個人情報保護法、介護保険法等	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算		144,312	
	決算		143,301	
	国・県支出			
	市債			
	その他		143,301	
一般財源				
一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		700	2,800	
人工	正規	0.1	0.4	
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

<p>(1) システムの名称 新高齢者福祉システム(現行の高齢者福祉システムと敬老祝金システムの統合)</p> <p>(2) システムの概要 <高齢者福祉システム> 市民台帳管理、実態把握取込処理、介護保険事業(地域支援事業管理)、在宅福祉サービス管理、基本チェックリスト対象者管理、地域高齢者調査管理、口座振替管理、地域包括支援システムとの連携、取込処理、マスタ管理 <敬老祝金システム> 市民台帳管理、新規対象者管理、異動対象者管理、自治会情報管理、送付先情報管理、マスタ管理</p>
--

・事業の成果と課題

<p>指標の達成度 <input type="text" value="計画通り"/></p> <p>(1) 新たなシステム構築・パッケージ保守に係る業務委託 【業務内容】現行の高齢者福祉システム及び敬老祝金システムの内容をベースに機能性を向上しパッケージ化した新たなシステムの構築と当該システムの保守業務 【契約金額】161,784,000円(うち消費税額11,984,000円)</p> <p>(2) 新たなシステムに係るサーバ等機器の賃借 【業務内容】新たな高齢者福祉システムの稼働に必要なサーバ等機器の賃借業務 【契約金額】17,891,118円(うち消費税額1,325,268円)</p> <p>(3) 新たなシステムに係る追加改修業務委託 【業務内容】新たな高齢者福祉システムの構築に関して、当初想定しておらず急遽必要となった業務の追加に係る改修業務(介護保険サービス利用負担割合情報の追加) 【契約金額】604,800円(うち消費税額44,800円)</p>

・事業の見直し

<p>実施結果 大項目 <input type="text" value="現状"/> 小項目 <input type="text" value="-"/> / <input type="text"/> 事業費 <input type="text" value="現状"/> 人工 <input type="text" value="現状"/></p> <p>・新たなシステム構築及び必要なサーバ等機器賃借業務について、計画どおり実施した。</p>
<p>今後の方向性 大項目 <input type="text" value="廃止"/> 小項目 <input type="text" value="ICT化"/> / <input type="text"/> 事業費 <input type="text"/> 人工 <input type="text"/></p> <p>・H28年度末をもって計画どおり新システム構築完了見込であり、事業を終了する。 (保守、機器等に要する経費は地域高齢者見守り・支援事業に移行)</p>

事業シート (事業名) 高齢者福祉運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					—		

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	3,289	2,918	5,997
	決算	2,444	1,952	
	国・県支出			
	市債			
人件費(報酬等) (千円)	その他			
	一般財源	2,444	1,952	5,997
	一般会計繰入金			
人工	人件費 (千円)	700	1,400	2,800
	正規	0.1	0.2	0.4
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

政策シート (政策名) 超高齢社会への対応

(予算費目名) 介護保険事業特別会計

(総合計画体系)

「分野」 健康・福祉

30年後の姿 支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

- 10年後の目標
- ・ 地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
 - ・ 病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

◆基本政策 人と人とのつながりをつくる社会の実現

◇政策の概要

- ・健康寿命の延伸
- ・地域包括ケアシステムづくりの推進
- ・認知症対策の推進
- ・高齢者見守り・支援体制の拡充
- ・特別養護老人ホーム・介護付き有料老人ホームの整備の推進
- ・元気な高齢者が支援の必要な高齢者を支える新たな仕組みづくりの推進

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	1,127,690	1,230,252	1,149,915
決算	1,001,083	1,104,495	
人件費(A)	32,620	52,500	65,520
報酬(B)	188	183	255
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,033,891	1,157,178	1,215,690

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
健康寿命の延伸 ※厚生労働省 発表 健康寿命	歳	男74以上女77以上	目標 実績	男73.08 女76.04	男73.18 女76.14	男73.28 女76.24
			目標 実績	—	—	
			目標 実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

- ・健康寿命の延伸
- ・地域包括ケアシステムづくりの推進
- ・認知症対策の推進
- ・高齢者見守り・支援体制の拡充
- ・特別養護老人ホーム・介護付き有料老人ホームの整備の推進
- ・元気な高齢者が支援の必要な高齢者を支える新たな仕組みづくりの推進

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

第7次浜松市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画(計画期間:平成27~29年度)の2年目として、計画に掲げた政策及び重点施策を着実に推進することができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		非常勤
1	介護保険事業	○	○	○		1,215,690	1,149,915	7.6			4.4	255
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						1,215,690	1,149,915	7.6			4.4	255

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 介護保険事業

◇事業目的・事業対象

高齢者が地域で自立した生活を送ることができるよう、「医療」「介護」「予防」「住まい」「生活支援」のサービスが切れ目なく一体的に提供される「地域包括ケアシステム」づくりを推進する。

◇事業の概要

【重点戦略項目 No.51】【重点戦略項目 No.56】
 ・介護予防・生活支援サービス事業(従来の介護予防給付と同様の訪問型・通所型サービス、人員基準等を緩和したサービス、住民主体による生活援助等のサービス提供の実施)
 住民主体訪問型サービス事業(H29新規)、元気はつらつ教室事業、運動器の機能向上トレーニング事業、住民主体通所型サービス事業(H29新規)
 ・一般介護予防事業(65歳以上の高齢者が対象となる介護予防事業の実施)
 介護予防推進事業、自立体力診断事業、ロコモーショントレーニング事業、口腔ケア・栄養改善支援事業、ささえあいポイント事業、地域リハビリテーション活動支援事業(H29新規)
 【重点戦略項目 No.41】【重点戦略項目 No.42】
 ・包括的支援事業(地域包括支援センターの運営、総合相談支援業務等の実施)
 地域包括支援センター運営事業、在宅医療・介護連携推進事業、生活支援体制整備事業、認知症施策推進事業
 ・任意事業(高齢者及び高齢者を介護している家族を支援する事業等の実施)
 家族介護継続支援事業、徘徊高齢者早期発見事業、介護用品支給事業、家族介護慰労金支給事業、シルバーハウジング等入居者安心確保事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H18	—	特別会計	自治事務(法令義務)	介護保険法	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	1,127,690	1,230,252	1,149,915
	決算	1,001,083	1,104,495	
	国・県支出	460,723	525,547	582,801
	市債			
	その他	347,066	374,104	371,329
	一般財源			
	一般会計繰入金	193,294	204,844	195,785
人件費(報酬等)(千円)		188	183	255
人件費(千円)		32,620	52,500	65,520
人工	正規	4.3	6.1	7.6
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤	0.9	3.5	4.4

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
ロコモーショントレーニング実参加者数(人)				Ⅲ-3(3)ア		56
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	2,500	5,000	10,000	12,500	15,000	15,000
実績値	2,639	5,667				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
ささえあいポイント事業登録者数(人)				Ⅲ-3(2)ア		51
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	1,930	2,800	3,000	3,200	3,350	4,000
実績値	2,520	2,860				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
地域包括支援センター総合相談件数(件)						41
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	32,200	32,400	37,400	37,400	37,600	38,000
実績値	35,525	37,285				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
在宅医療・介護連携相談センター相談件数(件)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	150	600	720	960	960	960
実績値	178	617				

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・介護保険運営経費(新総合事業事前調査)
【重点戦略項目 No.56】介護予防事業(二次予防事業及び一次予防事業の実施)
 介護予防推進事業、元気はつらつ教室事業、運動器の機能向上トレーニング教室事業、ロコモーショントレーニング事業、訪問型介護予防事業、生活管理指導員派遣事業、生活管理指導短期宿泊事業、介護予防サービス対象者把握事業、自立体力診断事業(H28臨時事業)
【重点戦略項目 No.41】【重点戦略項目 No.42】
 ・包括的支援事業(地域包括支援センターの運営、総合相談支援業務等の実施)
 地域包括支援センター運営事業、認知症施策推進事業、生活支援体制整備事業(H28新規事業)、在宅医療・介護連携推進事業(H28～政策体系の変更)
 ・任意事業(高齢者及び高齢者を介護している家族を支援する事業等の実施)
 家族介護継続支援事業、介護用品支給事業、家族介護慰労金支給事業、シルバーハウジング等入居者安心確保事業、徘徊高齢者早期発見事業(H28新規事業)

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・介護保険運営経費(新総合事業事前調査)及び地域支援事業(介護予防事業、包括的支援事業、任意事業)について、計画どおり実施することができた。

- 【ロコモーショントレーニング事業】
参加団体数:235団体 参加者数:5,667人(目標値:5,000人)
- 【ささえあいポイント事業】
登録者数:2,860人(目標値:2,800人)
- 【地域包括支援センター運営事業】
総合相談件数:37,285件(目標値:32,400人)
- 【認知症地域支援推進員】
養成人数:8人(目標値:7人)

・事業の見直し

実施結果

大項目 改善 小項目 統合・再構築 / 条例・要綱等 事業費 現状 人工 拡大

・H29年度からの新たな介護予防・日常生活支援総合事業(新総合事業)の実施に向け、旧介護予防事業内容の整理・見直しを実施し、新たな事業体系に整理した。
 ・新たな事業体系への整理に伴い、必要な手数料条例改正(生活管理指導員派遣事業、元気はつらつ教室事業、運動器の機能向上トレーニング事業)、補助金要綱の制定(住民主体訪問型・通所型サービス事業)を実施した。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 収集・分析 / 事業費 拡大 人工 拡大

・H29年度から、新総合事業を含む新たな地域支援事業の体系に基づき事業を実施していく。今後、実施状況や他都市の状況等を踏まえ、必要な事業の創設や再編・統廃合を検討していく。

平成29年度

(管理番号)

05 01 01 03 001035000 01

(担当課)

高齢者福祉課

(責任者)

小石川 邦夫

(作成日)

平成 29 年 7 月 1 日

補助シート (事業名) 介護保険事業

◇事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
56	ロコモーショントレーニング事業 ・普及啓発 ・全市展開 参加者数2,500人	ロコモーショントレーニング事業 ・普及啓発 ・全市展開 参加者数5,000人	ロコモーショントレーニング事業 ・普及啓発 ・全市展開 参加者数10,000人	ロコモーショントレーニング事業 ・普及啓発 ・全市展開 参加者数12,500人
41	地域包括支援センター ・総合相談支援業務 ・権利擁護業務 ・包括的・継続的ケア マネジメント業務 ・介護予防マネジメント 業務 三職種専門職員による 相談体制の強化	地域包括支援センター ・総合相談支援業務 ・権利擁護業務 ・包括的・継続的ケア マネジメント業務 ・介護予防マネジメント 業務	地域包括支援センター ・総合相談支援業務 ・権利擁護業務 ・包括的・継続的ケア マネジメント業務 ・介護予防マネジメント 業務	地域包括支援センター ・総合相談支援業務 ・権利擁護業務 ・包括的・継続的ケア マネジメント業務 ・介護予防マネジメント 業務
51	・ボランティア登録研修 会の実施 ・施設ボランティア 施設登録の受付 ・地域ボランティア 対象地域の拡大(中山 間地域→全市) 団体登録の受付	・ボランティア登録研修 会の実施 ・施設ボランティア 施設登録の受付 ・地域ボランティア 団体登録の受付	・ボランティア登録研修 会の実施 ・施設ボランティア 施設登録の受付 ・地域ボランティア 団体登録の受付	・ボランティア登録研修 会の実施 ・施設ボランティア 施設登録の受付 ・地域ボランティア 団体登録の受付